

在宅医療のあり方を共に考える



在宅医療連携だより



かつ在宅医療推進センター

センター長の挨拶

一般社団法人 新発田北蒲原医師会

かつ在宅医療推進センター長 川康夫

いわゆる団塊の世代が、後期高齢者となる2025年には、下越圏域では、65歳以上の人口割合が約37%となり、75歳以上は約21%（5人に1人）と推測されています。このような超高齢化社会における国の方針として「重度の介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることが出来るように、住まい、医療、介護、予防、生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステム」の構築を各中学校区域単位で目指しています。それには、「医療職」、「介護職」、「行政職」等々の関連する多職種の協働が不可欠であり、そのためには、顔の見える良好な関係・連携づくり、職種間の情報の共有、研修などが重要となります。

そこで、平成27年12月に、新発田北蒲原医師会（新発田市、阿賀野市、胎内市、聖籠町）は、「かつ在宅医療推進センター」を設置し、地域包括ケアシステム構築のための多職種協働として、講演会等による在宅医療の普及啓発、研修会による人材育成、かつ医療・介護ネットワークシステム「ときネット®」による医療介護関係者の情報共有支援、関係職種間での課題整理等、在宅医療提供体制のコーディネートなどの事業を開始しております。

今後とも、行政、多職種の方々と協働して、住み慣れたこの地域で、人生の最後まで安心して生活できるように、在宅医療提供体制の構築を通じて、地域社会に貢献します。

かつ在宅医療推進センターからのお知らせ

在宅医療の連携における相談窓口について

在宅医療介護の現場での『お困りごと!』『在宅訪問医を探している!』

『在宅医療介護連携でうまくいかない!』等々、お気軽にお問い合わせください。

患者さん（利用者さん）にとってより良い方法が見つかるようお手伝いをいたします。

〔問い合わせ先〕

かつ在宅医療推進センタ - 平日9:00~15:00 TEL 0254-28-7914





「かえつ地域における在宅医療について考える会」についてご報告

かえつ地域の在宅医療提供体制の構築をめざし、地域ごと、多職種のパネリストよりご発言を頂き関係者との意見交換を行うことで、現状を共有し課題を明らかにして今後の活動につなげることが目的です。中でも現状（課題）をみんなで共有することが重要であり、そこがスタートであると考えます。これからも皆様と共に、在宅医療介護連携について考えていきたいと思えます。

第1回 平成29年 8月23日 新発田北地域包括圏域について

参加者数 98名 アンケート回答数80件 回答率82%

パネリスト	新発田北地域包括支援センター	岩崎	様
	下越総合健康開発センター訪問看護ステーション	平野	様
	老人介護支援センターしうんじ 介護支援専門員	本間	様
	平塚ファミリークリニック院長	平塚	先生

第2回 平成29年11月20日 新発田中央・南包括圏域について

参加者数 92名 アンケート回答数77件 回答率84%

パネリスト	新発田中央地域包括支援センター	鈴木	様
	新発田南地域包括支援センター	藤井	様
	訪問看護ステーションランジュ	坪谷	様
	新発田地区居宅介護支援事業者連絡協議会会長		
	ジャパンケア新発田 介護支援専門員	松林	様
	笹川医院院長	笹川	先生

第1回の要約

医療と介護のより良い連携のために“顔の見える関係が必要”との考えから、包括のスタッフと有志の方が要^{かなめ}となり企画検討を重ね、9月に1回目の多職種連携のための『顔の見える会』を開催し交流を深めた。間もなく第2回が(3/13)開催されるという活動の紹介。

医療と介護の両方に関っていける訪問看護を活用してほしい。多職種連携と同時に診療所の看護師と訪問看護ステーションの看看連携がもっと進展すると良い。

「老人介護支援センターしうんじ」での「ときネット」を活用した情報共有により、その人の望む最期が迎えられるように看取りまで家族と共に支援を続けた事例の紹介。

「在宅訪問診療医のお盆休み」と題して、終末期を迎える患者さんを何人も抱える中で、楽しみにしていた故郷の同級会へ出席。しかも在宅の患者さんの最期も家族と共に暖かく見守る事ができたという、大変そうだけど心和む在宅医のお盆休みの紹介。

アンケート結果



参加者の勤務地

	第1回 回答率 99%	第2回 回答率 99%
新発田市	64 (80%)	67 (88%)
胎内市	5 (6%)	5 (7%)
阿賀野市	6 (8%)	1 (1%)
聖籠町	4 (5%)	3 (4%)

勤務先

	第1回 回答率 99%	第2回 回答率 94%
医院・診療所	11 (14%)	7 (10%)
病院	14 (18%)	6 (8%)
薬局	9 (11%)	10 (14%)
訪看	10 (13%)	12 (17%)
地域包括	17 (22%)	10 (14%)
行政	1 (1%)	2 (3%)
居宅介護事業所	13 (16%)	25 (35%)

第2回の要約

地域包括の方より、地域ごとの高齢化率を示し、「高齢化」「独居」「認知機能の低下」「低所得や無年金」等、複雑な状況から支援困難ケースへの対応に多くの時間を要している現状報告。在宅療養者とその家族を支える関係多職種の担当者などが、いかに円滑に情報共有できるかは重要な課題であると。

訪看の方より、いくつかの事例を通してかかりつけ医と訪看との連携において「決まり事」があることの有効性について発表。

ケアマネの方より、ケアマネージャーの業務内容について発表。その活動上での困っていることや課題などを発表。「敷居の高さ」を感じる者も少なくないが、医療と介護の連携が今まで以上に求められる中で、関係者が互いに顔が見えてスムーズに連携できることがこれから益々重要。

在宅訪問医療に関する診療報酬項目等、わかりやすく講演。

➡ それぞれの課題に対する今後の進展が期待される所です。かえつ在宅医療推進センターとしても次年度の活動につながるよう努力してまいります。

「ケアマネタイム」は、
活用されていますか？



「ケアマネタイム」の内容で修正したいことやご要望等がございましたら、お知らせください。

意見交換は十分にできましたか？

	第1回 回答率 89%	第2回 回答率 94%
1. できなかった	0 (0%)	1 (1%)
2. 少しできた	13 (18%)	10 (14%)
3. できた	39 (55%)	29 (40%)
4. 良くできた	10 (14%)	26 (36%)
5. 十分できた	9 (13%)	6 (8%)

この地域の課題は明確になったか？

	第1回 回答率 90%	第2回 回答率 92%
1. できなかった	1 (1%)	1 (1%)
2. 少しできた	6 (8%)	14 (20%)
3. できた	44 (61%)	26 (37%)
4. 良くできた	14 (19%)	23 (32%)
5. 十分できた	7 (10%)	7 (10%)

参考になったか？

	第1回 回答率 99%	第2回 回答率 95%
1. できなかった	0 (0%)	0 (0%)
2. 少しできた	0 (0%)	4 (5%)
3. できた	29 (37%)	26 (36%)
4. 良くできた	19 (24%)	33 (45%)
5. 十分できた	31 (39%)	10 (14%)



在宅医療推進センターのホームページを 開設いたしました！！

これから、いろんな情報が盛り込まれていきます。是非、ご覧ください。

URL : <http://www.inet-shibata.or.jp/~zaitaku/>



こちらのQRコードからも
ご覧いただくことができます！





ときネットについて

ときネット(正式名称 かえつ医療・介護ネットワークシステム)は、平成26年度新潟県在宅医療連携モデル事業によりできました、医療・看護、介護等のICT(情報通信技術)を利用した情報共有の仕組みの総称です。ときネット命名の由来は絶滅危惧種であった“とき”が放鳥できるまで復活したように、当地区も高齢社会と言う逆境に負けず、活性化し先進的なモデルとなり、新潟県内へ羽ばたくという意味合いを込められていると言われております。ときネットのシステムは地域連携クリティカルパスシステム、医療・看護・介護支援システム、薬剤情報共有システム、救急時患者情報システムによって4つから構成されています。

運営は新発田北蒲原医師会、各種関連団体や市町村行政等から構成されている、**かえつ医療介護連携協議会**が行っています。加入施設は医療機関、介護事業所を含め187施設、登録者患者数は約2,500名と当地域の人口の約1%に達しています。

ときネットは、参加されている皆さまが使い易い様に順次修正が行われています。定期的にアナウンスしております。ときネットのトップページお知らせ欄に掲載しておりますのでご参照ください。



お知らせ欄はこちらです。



ときネット事務室のつぶやき

年度末で多忙な時期ですね。

ときネット利用者登録の職員の異動など、変更をお忘れなく。

ときネット事務室からのお知らせ

- 🚩 ときネットに関するお困りごとがありましたら、何でもお知らせください。
- 🚩 出張対応も致します。
- 🚩 皆さんから 快適に使って頂けるよう微力ですがお手伝いさせていただきます。



編集後記

このたび、皆様方と“より良く繋がる”ことをめざして刊行誌「在宅医療連携だより」を発行いたしました。在宅医療と介護に関わる多職種の皆様方といるなところで話し合い、共に考え“かえつ地域の在宅医療のあり方”を模索し、さらに『ご本人の望むところで安心して暮らし続ける』地域包括ケアシステムの推進に少しでも貢献できれば幸いに思います。平成30年の医療と介護報酬同時改訂は、“歴史的な改訂”との声も聞こえてまいります。在宅訪問診療や訪問看護に関する評価の改訂にも注目が集まります。かえつ在宅医療推進センターは、これからも関連多職種の皆様と共に進んでまいりたいと思う今日この頃です。(なべ)



問い合わせ先

かえつ在宅医療推進センター 渡辺 TEL0254-28-7914 又は「ときネット」メールにてどうぞ。